

第10回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

テーマ Carry on ～その先へ～

Carry onには、困難にめげずに立ち向かうという意味があります。ライフセービングにおいても、どんな困難な状況でも助けるべき人がいる時、レスキューに行かなくてはなりません。今回のテーマとライフセービングをかけて、困難に立ち向かう重要性を見出していただきたいという思いが込められています。また、今大会のみに焦点を置くのではなく、夏の監視業務に繋がるためのレスキュー技術を身につけてほしいと考えております。今大会がレスキュー技術を試す場だけでなく、今後の各々の発展に繋がることを目標に掲げるため、このテーマにしました。

皆さんのご健闘をお祈りしています。思い出の残る楽しい大会にしましょう。

◎チーム種目ダブルポイント制について

今年も昨年に引き続きダブルポイント制を導入します。この制度の導入のきっかけはライフセービングをする仲間を増やして、チーム種目に参加してほしいという願いから導入が始まりました。チーム種目に参加できない大学は、今後チーム種目に出場できるように仲間を増やして頂けたらと思います。また、昨年よりルールが改正されマネキン水没の失格が減りました。マネキン水没の失格が減ったことにより、今までの大会でも安全・確実が最優先事項にありましたが、より迅速に行う事ができるようになり、どの大学がレスキューで3原則をしっかりと守ったNO. 1 なのかがわかるようになります。そのなかでチームの団結力を高めてもらえたらとも思います。

◎学生選抜チームについて

<学生選抜チームとは>

4×50mメドレーリレー（男女）において、決勝に出場出来ない予選タイム9位/10位/11位/12位の学校から1名ずつ選出し、学生選抜チームを作ります。この選抜チームは、1位から8位を決定する決勝戦に出場することが出来ます。

決勝は9コース目にて行います。ただし、オープン参加となりますので得点は入りませんが、記録を出した場合は公式記録として認められます。選抜チームの参加選手の決定につきましては、9位/10位/11位/12位のそれぞれの学校の代表および大会担当の話し合いにより決定します。

<学生選抜チームを結成する目的>

惜しくも決勝進出を逃してしまったチームにもチャンスをつくって新たな可能性に挑戦してほしい、来年は自身が所属するチームで決勝に残れるように頑張りたいと思ってほしいという考えから学生選抜チームを結成することにしました。また、決勝に出場するチームだけでなく、他に出場するチームを応援することで、より盛り上がるのではないかと考えています。さらに、決勝という場を経験することで、今後の練習の質の向上を目的としています。

◎学生部イベント

『 Let's make memories of the 10th anniversary 』

今回の大会では昨年に引き続き、笑顔コンテストを行います。学生部が用意した、インスタフレームとカメラで皆様の笑顔を撮りに行き、最も素敵な笑顔を見せてくれた方には表彰を行います。

さらに、今大会は10回目と記念すべき大会に伴い、各大学1枚、A4用紙に自分のクラブ紹介ポスターを制作し、それを会場に展示したいと考えています。絵や写真を使い自由に自分のクラブを表現し、1番素敵なポスターを書き添えてくださった大学にも、表彰を行います。ポスターは、代表者会議の時に集めるので、皆様の素敵なポスターを楽しみにしています。

またその他にも、SNSや参加者皆様の力を借りて思い出に残るイベントを模索しています。詳しくは二次要項にてお知らせしますのでお楽しみに！

◎大学紹介動画

今年度は大学紹介を事前に動画として回収し、インカレ開始前にSNSにてアップしたいと考えています。これはより多くの方にインカレについて知ってもらうとともに、各大学の意気込みや大学ライフセービング活動を他の大学に知ってもらうことでより大会を盛り上げていきたいと考えていますので写真や動画を組み合わせて各大学の個性が溢れるような動画を作成してください。また、この動画は大会までのカウントダウンの際にSNSにてアップします。なお、作成は編集の関係上ムービーメーカーでの作成をお願いします。提出方法は下記のメールアドレスにて送信してください。今までとはアドレスが変わりますのでご注意ください。

(注意事項)

- ・ファイルはmp4(ムービーメーカー推奨)
- ・動画は音楽を付けず、45秒程度で作成
(携帯で撮影した動画か写真をスライドショーにしたもの)

【メールアドレス】

tama.jla15@gmail.com

◎グッズについて

海の大会に引き続き、今大会でもグッズを販売します。学生からアイデアを募り、採用されたものを取り入れ、反映しています。10周年記念限定のデザインとなっていますので、たくさんの方にご購入していただけるのを楽しみにしています！

◎ゴミについて

前回に限らず、大会では競技エリア付近に多くのゴミの放棄が見受けられています。空になったペットボトルなど、観戦し終わったあとそのまま置いて帰る人が多くいます。海は公共の場であり、私達が活動していく上でとても大事な場所です。ゴミの放棄が減らない場合、大会の開催が困難になる可能性があります。今一度ゴミの管理について見直し、今大会では各自ゴミは持って帰り、誰もが過ごしやすい環境作りを心がけましょう。